

第 18 号 2006/10/23



ひまわりふぁみりーかるた written by Daisuke

もうすぐヒッポの韓国アップ交流に行きます。初の韓国ホームステイ、とっても楽しみです。期間はホームステイが 3 日間と非常に短いのですが、最後の最後までみんなと準備してがんばりたいと思います。

10月21日、22日と上記交流の準備会「お父さん交流準備会」のために名古屋に行きました。参加するお父さん達には「お父さん交流の課題」として、オドロキの 18 番を与えられました。自分はまだまだ歌えないのですが、準備会では歌えるお父さんが数人いるのです。どうして歌えるようになったのか？どうやって真っ暗体験をしているのか？すごく疑問に思いました。

その答えは偶然にも次の日に分かりました。

2日目に名古屋の中川区の体験会に参加しました。体験者は残念ながらいなかったのですが、交流に行くお父さんが自分を含めて 4 人いました。交流に参加する中部のアップメンバー全員で韓国人に対して、what's hippo (ヒッポの説明) をする事が前日の準備会で決まりました。中川区は名古屋西地区で、CD の説明が担当。その説明を、オドロキ 3 番と 18 番を使用して行うという課題が、前日に決まりました。押し迫っているので、3 番の真っ暗体験を行うこととなりました。

真っ暗体験とは、メンバーのほとんどが聞いたことのない場所をみんなで一緒に聞いて、聞こえる音をひらって歌えるようになるろうという体験です。

真っ暗体験は、次のようにやりました。チーム対抗戦で男性チームと女性チームに分けて行い、最初の 1 分間を 10 回ぐらい聞きました。さらに聞く間に、チームで話し合う時間を作りました。話し合う時間にはみんなで生メタする時間も含まれています。そして最後にそれぞれのチームで歌い、どっちが歌えているかジャッジ、判断するという内容でした。

真っ暗で歌えるようになるコツですが、ずばり話し合うことだと思いました。それぞれのチームでみんながどう聞こえたか話し合うのです。男性チームの話し合いでやった事を記載します。

- ① 担当を決める、一文ずつ覚えるフレーズをチームで決める。
- ② 自分が担当した文章の頭だしを覚えるにする。(文章の頭だけ覚える)
- ③ みんなで聞こえた音を言ってみたり、意味がなんとなく分かるところを言ってみたりする。
- ④ 生メタをチーム内で行う。

漠然と今まではしていましたが、文頭を出来るだけ覚えて、日本語や他の言語に近い空耳を探して、もちろん意味まで分かれば良いという感じでしょうか？
最も必要な事は話し合っ、みんなで音を共有するということです。

真っ暗体験って？と手探りでやっていたことを考えるとすごく分かり易い気がしました。早く歌えるようになる手段としてはいいのかなとも思いました。ただ単に闇雲に真っ暗を体験するわけではないのです。

さらにハンカチ落としの際に、オドロキ 18 番縛りをしました(笑)。マイクを輪の中で回し、オドロキの 18 番にある音を皆で順番に言っていくという内容でした。ハンカチ落としは、発言をしながらだったので、結構難しかったです。そこには子供達も参加して楽しんでいました。ジョージというお父さんが全部 18 番歌えるのですが、彼の小学校の娘も歌えるのです。お母さんも子供達も真っ暗したり、歌っているのです、オドロキ 18 番縛りが出来るのです。

スティ先の旦那さんヤブさんはヒッポ参加連続記録に挑戦中。現在 8 日間連続でヒッポしていると言っていました。自分も富山、内灘、名古屋×2 と 4 日間連続してヒッポしていたのですが……。北陸でもファミリーが増えて環境が豊かになるといいなと思いました。

お父さんや青少年が元気なふぁみりーは本当に活気があります。ぜひひまわりふぁみりーもお父さんや青少年が元気なふぁみりーにしたいです。またヤブさんのように毎日ヒッポできる環境になればいいな—と思いました。お父さんをぜひ巻き込もう。また少しでもフェロウに興味がある人は声をかけてくださいね。

合宿で準備の集大成をしたいと思っています。ぜひ今からでもいいので、合宿に家族を連れて参加しよう。みんなで話せるようになりたい。韓国語ぺらぺらになりたいよ—。そう思いました。ふぁみりーでもっともっと歌いたいとも思いました。

出来る人の真似をしよう。赤ちゃんは家族の真似をして言葉を覚えるんだよね。

以上

さんちゃん：090-4687-5277

大輔： 090-2121-0582

Tel&Fax： 076-262-0148

